

社 報



腕を磨く！

増資完了しました

10月20日に第三者割当増資を実施しました。これにより、当社資本金は1,500万円から、2,240万円に増加しました。

資本の引受先は当社幹部の方全員に負担いただきました。

建設業法では、請負1件についての、下請けへの発注金額の合計が3,000万円を超える工事については、特定建設業の許可を必要とします。

下請けへの発注金額の合計が3,000万とは、ちょっとした工事ですぐに違法状態になってしまいます。

特定建設業の許可要件は、資本金2,000万円以上 かつ 自己資本4,000万円以上です。当社は来年4月末の決算において、その基準を達成する予定です。

「腕を磨く！」大切さを頭の中でわかっている、現実に出来ないことがよくあります。

職人に限らず、職業人として生きていくには、腕を磨いていかねばなりません。良い仕事・能力が高ければ、仕事の上で評価されるということは経済社会の大原則です。

しかし現実には、腕の良い職人に良い仕事が与えられ、良い収入を得られるとは限りません。

また、だからと言って、腕を磨くことをやめてしまえば、能力は向上しなくなり、仕事の質も向上しません。そして、そうした風評が世間に伝われば、仕事がどんどん減ってしまいます。

と考えれば、「腕を磨く！」と言うことは、収入を増やすことではなく、世間の風評を良くする為でもありません。人間として職業人として、「腕を磨く！」ことは当たり前のことなのです。

経済社会の原則は、高能力・良い仕事・高収入です。これは間違いありませんが、現実にはバラツキが大きく、必ずその通りになりません。

人を評価するのは人ですから、見方によって大きく変化しますし、

相性の問題もあります。

出会いがなければ評価されることもありませんし、中には、偏見や誤解や勘違いなどもあります。

「腕を磨く！」ことは、良い仕事をすることができ、評価・高収入を得られるわけではありません。

人間としての生き方、社会の原則がどうあるべきか、これを問い、そうした社会にするために、自身が生き方を決めるわけです。

口八丁手八丁の要領で生き、良い仕事だけをうまく手に入れて、収入を得る人も社会には多くいます。

しかし、社会がそうした人達ばかりになってしまったら、みんなが困ってしまいます。

「腕を磨く！」大切さは、人の生き方を決めるという点にあると思うわけです。そして最終的には「腕を磨く」者が評価される社会を実現して、自分自身が報われるということなのかもしれません。

腕を磨いても必ず報われないからこそ、腕を磨くことが尊いのであり、そうした人にこそ世間の評価が与えられるのです。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！

今月も災害が発生・・・！

10月10日(月)9:20頃
朝陽ヶ丘幼稚園の現場で、型枠加工作業中、製材機で左親指をを切り、負傷したもの。(不休災害)
被災者名:川久保秀人さん
年齢65歳 経験31年
雇用会社:サカイ工務店

製材機事故を防止する

製材機による事故は指を飛ばす大事故になります。作業の基本を必ず守ってください。

- ・製材機に事故防止シールを貼る。
- ・製材機使用時は軍手使用禁止！
- ・刃の近くに手を持っていかない。
- ・細物切断は治具を使用する。

安全成績 (H17年)

現場災害 H17.1.1-H17.11.4	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 4
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 4
交通災害 H17.1.1-H17.11.4	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 1
合計	----- 1